

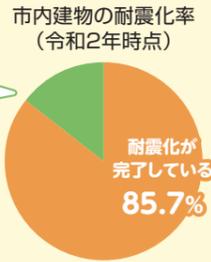


耐震対策の補助制度を確認!

昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅の無料耐震診断を実施しています。
※令和6年度の受付は終了しています。



耐震化が完了していない
14.3%



●診断の流れ



●耐震改修補助 令和7年4月スタート

**代理受領
制度**

(例) 工事費200万円、補助金100万円の場合



その他、市のサービスを活用しましょう!

今こそ確認! ごみ処理を確認しておこう!

災害の影響で家具などが壊れるなどにより災害ごみが大量に発生すると、市が仮置場を設置する場合があります。被災した時に分別に困らないよう、普段から災害時のごみの出し方について確認しておきましょう。



災害ごみの種類

- 災害で壊れた家電製品
- 災害で壊れた家具
- 災害で使えなくなった布団、畳、カーペットなど
- 災害で割れたガラス、陶器類

詳しくはこちら/

災害ごみを少なくするためにできること

- 不要な家具などは処分!
- 倒れやすい家具を壁に固定!
- 家具転倒器具取付費の補助あります!

詳しくはこちら/

一定要件を満たした住民を対象に補助を行っています。

地震による電気火災を防ぐために

感震ブレーカーを取り付けよう!

地震が発生すると、停電の復旧時や地震の揺れに伴い電気機器から出火する電気火災の危険があります。感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めることができ、電気火災の防止に有効です。



一定要件を満たした住民を対象に補助を行っています。



●問合せ: 危機管理課 (Tel) 69-2103 (Fax) 63-4619



地震が起きたら避難!

地震発生後、自宅の安全性に問題がある場合は迷わず、避難所に向かいましょう。



市内の避難所
一覧はこちら



地震発生後の家にはこんなリスクがあります



家が崩れる

地震直後は崩れていなくても、余震などで突然崩れて下敷きになる危険性があります。



物資が届かない

避難所に行かず、周りと連絡が取れていない状況で自宅に残ると、被害状況を把握できず、物資が届けられない可能性があります。



安否確認ができない



地震発生直後も、自宅に残っている方も多かったです。しかし、食料や生活に必要なものの支援はまず避難所から調達されますし、避難所にいたほうが、情報が入りやすく安否確認を行いやすいです。また、避難所は地震に対して強いとされています。住み慣れた家のほうが安心できるかもしれませんが、自宅の安全性が確認できない時は避難所に行くことが大切です。



地震発生10日後に復旧活動に派遣
住宅建築課 建築係長
岡田 陽介

市から発信! 防災情報

甲賀市ホームページ

災害発生後、トップページに緊急情報を随時更新。危機管理課のページでは、防災情報などを掲載しています。



あいこうか緊急メール

地震情報や土砂災害情報などの災害情報を配信。英語やポルトガル語版などの多言語配信にも対応!



甲賀市公式LINE

市からのお知らせやイベント、防災情報を配信。LINEメニューの「受信設定」からあなたの受け取りたい情報の登録もできます!



お得なキャンペーン開催中!
詳しくは10ページへ

エフエム花(ラジオ)

令和5年9月18日に防災協定を結びました。災害が起きた時に避難情報や災害情報が発信されます。



聴き方
▶ラジオで聴く 周波数をFM77.5MHzに設定
▶お持ちの端末で聴く 「Listen Radio(リスラジ)」から聴く